



ア式蹴球部

■ 1924年(大正13年)公認

部員数

132名



部長
石井昌幸
スポーツ科学学術院
教授

創部101年目となる今年、男子部は4シーズンぶりの関東大学1部リーグ復帰を果たしました。兵藤監督4年目となる今季は、鈴木大翔主将、関紀信主務を中心に例年にも増して結束力が強く、ハードワークのできるチームです。念願の1部の舞台で旋風を巻き起こしてくれるものと信じます。女子部は昨年、リーグ、インカレともに苦戦しましたが、野田新監督と新コーチ陣を迎えて心機一転、タイトル奪還に燃えています。少ない部員数ながら千葉翠々花主将、山崎理子主務を中心に、厳しさと仲の良さを兼ね備えたチームです。早稲田らしい考えるサッカーで、必ずや王座を取り戻してくれるでしょう。



男子部門監督
兵藤 慎剛

4年生へ
まずはア式蹴球部での活動お疲れ様でした。そして、共に3年間戦ってくれて感謝します。今年のチーム目標を達成できたことは、4年生の力が大きかったと思います。また、大学4年間での1年が大きく成長するのを実感できた年になったはず。責任ある立場になると、覚悟が変わる。覚悟が変わると意識が変わる。意識が変わると言動が変わる。言動が変わると習慣が変わる。習慣が変わると結果が変わる。ア式での学びを今後に活かして、アップデートし続けること。そして、変化を恐れず、自らが主体的に動ける人になってください。今後もア式蹴球部の哲学である"WASEDA the 1st"の「人として1番」を追求し続けてくれることを願います。ありがとうございます。



主将
山市秀翔
スポーツ科学部
桐光学園

1年生の時に2部へ降格し、そこから2年連続で1部昇格を逃しましたが、最上級生として挑んだ最後のシーズンに、ア式蹴球部に関わる全ての方々と共に関東1部昇格を果たすことができました。個人としては日本一を目指して入学しましたが、夢は叶いませんでした。しかしこの4年間で、周囲への感謝を忘れないことの大切さ学びました。家族、切磋琢磨する仲間、熱い指導をしてくださったスタッフ、支えてくださったOB・OGの皆様など、多くの支えがあってこそこの大学生活でした。次は1部の舞台です。後輩たちなら必ず活躍してくれると信じています。4年間支えてくださった全ての皆様に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございます。



主務
木庭 正太郎
商学部
早稲田実業

今年は創部101年目という新しい歴史のスタートをより良いものにつくべく、全員が「強い早稲田」を取り戻すために戦った1年でした。

シーズンを通して思うように結果が出ず、リーグ戦こそ勝ち星を伸ばせたもののアミノバイタルカップでは初戦敗退、早慶戦も負け、苦しい時期も多くありました。ただその中でも、シーズン当初に掲げた目標を見失わずに細かいことにもこだわり続けた結果、至らぬ命題だった1部昇格を果たすことができました。4年間、多くの方にご支援いただき無事走り切ることができました。この4年間で学んだ貴重な経験を無駄にせず、大きく飛躍できるようこれからも精進していきます。4年間本当にありがとうございました。



女子部門監督
後藤 史

2025シーズン、「躍進」というスローガンを掲げ、たくさんの方に励み、努力し続けてくれたことに感謝します。

4年生として、思い描いていた1年ではなかったのではないかと思います。その一つひとつの感情を忘れないでください。

後悔や悔しさを意味のあるものにできるのは、未来の自分だと思います。

ア女での4年間の経験が血や骨となり、これからそれぞれ選んだ道のを、力強く歩んでくれることを、心から祈っています。

卒業、おめでとう。



女子部門主将
宗形 みなみ
スポーツ科学部
仙台育英

学生主体の組織だからこそその難しさも多くありましたが、それ以上に学びや経験に溢れた4年間でした。仲間にもまれ、苦業を共にする中で、早稲田ア式蹴球部の伝統を継承することの責任と大切さ、そしてその難しさを実感しました。この4年間で得た経験は、自分を大きく成長させてくれました。これからも自分の軸をぶらさず、成長し続けていきたいと思っています。



女子部門主務
山崎 理子
法学部
長野(県立)

リーグ戦が終了し、惜しくも優勝という結果には届きませんでしたが、4年生が掲げたスローガン「躍進」のもと、チーム全員がそれぞれの良さを発揮しながら、一つの方向に向かって進み続けることができたシーズンだったと思います。困難な状況の中でも自分たちのスタイルを信じ、最後まで全員で「アらしいサッカー」を追求し続ける姿勢が、どの試合にも表れていました。勝敗だけでなく、一人ひとりがチームの一員として成長し、互いを支え合う時間を積み重ねられたことは、今シーズンの大きな財産です。4年生が築いてくださったこの基盤を大切に、来季はさらにチームが成長し続けられるよう尽力していきたいと思っています。



本年度試合戦績

成績(早稲田勝利:○、引き分け△、敗戦●)

(男子)

◇JR日本カップ2025 第99回関東大学サッカーリーグ戦2部 (4月6日~11月15日)

- ▷4/6 vs 神奈川大学(○3-2)
- ▷4/13 vs 立正大学(○2-1)
- ▷4/16 vs 東京農業大学(○4-1)
- ▷4/20 vs 山梨学院大学(○1-0)
- ▷5/3 vs 法政大学(0-0)
- ▷5/6 vs 産業能率大学(○1-0)
- ▷5/11 vs 國學院大学(○4-0)
- ▷5/18 vs 駒澤大学(●0-2)
- ▷5/25 vs 関東学院大学(○3-2)
- ▷6/1 vs 拓殖大学(●1-2)
- ▷6/8 vs 順天堂大学(2-2)
- ▷9/21 vs 立正大学(○3-1)
- ▷9/28 vs 法政大学(0-0)
- ▷10/5 vs 拓殖大学(○2-1)
- ▷10/8 vs 國學院大学(●0-1)
- ▷10/12 vs 山梨学院大学(○4-0)
- ▷10/19 vs 関東学院大学(○2-1)
- ▷10/25 vs 東京農業大学(○2-0)
- ▷10/30 vs 駒澤大学(1-1)
- ▷11/2 vs 順天堂大学(○4-0)
- ▷11/9 vs 産業能率大学(●1-2)
- ▷11/15 vs 神奈川大学(○2-0)

◇アミノバイタルカップ2025

第14回関東大学サッカートーナメント大会 (6月20日)
▷6/20 vs 3回戦 國學院大学(●2-3)

◇第76回早慶サッカー定期戦 (8月17日)

▷8/17 vs 慶應義塾大学(●1-2)

(女子)

◇第31回関東女子サッカーリーグ (4月13日~)

- ▷4/13 vs FC十文字Mare(○1-0)
- ▷4/20 vs 東京国際大学(●1-2)
- ▷4/27 vs 日体大SMG横浜サテライト(●0-1)
- ▷5/4 vs つくばFCレディース(●0-1)
- ▷5/11 vs 山梨学院大学(○1-0)
- ▷5/18 vs 神奈川大学(△0-0)
- ▷5/25 vs 東洋大学(△0-0)
- ▷6/1 vs FC十文字Mare(○3-1)
- ▷6/8 vs 東京国際大学(△0-0)
- ▷6/15 vs 日体大SMG横浜サテライト(○1-0)
- ▷10/5 vs つくばFCレディース(○4-3)

▷10/12 vs 山梨学院大学(○1-0)

▷10/19 vs 神奈川大学(○2-0)

▷11/1 vs 東洋大学(△1-1)

◇第39回関東女子サッカーリーグ (4月5日~)

- ▷4/5 vs 神奈川大学(●0-1)
- ▷4/12 vs 筑波大学(○2-0)
- ▷4/19 vs 十文字学園女子大学(○3-1)
- ▷4/27 vs 日本体育大学(○2-1)
- ▷5/3 vs 山梨学院大学(△3-3)
- ▷5/10 vs 東海大学(○4-0)
- ▷5/18 vs 日本大学(○2-1)
- ▷5/24 vs 東京国際大学(●2-3)
- ▷5/31 vs 帝京平成大学(△1-1)
- ▷6/7 vs 神奈川大学(●0-1)
- ▷6/14 vs 大東文化大学(○3-1)
- ▷6/21 vs 神奈川大学(●0-1)
- ▷6/28 vs 筑波大学(○1-0)
- ▷7/6 vs 十文字学園女子大学(△0-0)
- ▷7/12 vs 日本体育大学(△1-1)
- ▷7/19 vs 山梨学院大学(○3-0)
- ▷9/28 vs 東海大学(○4-0)
- ▷10/4 vs 日本大学(●3-4)
- ▷10/11 vs 東京国際大学(△1-1)
- ▷10/18 vs 帝京平成大学(○1-0)
- ▷10/25 vs 東洋大学(●0-1)
- ▷11/2 vs 大東文化大学(○4-2)

◇第47回関東女子サッカー選手権大会(兼)

皇后杯JFA第47回全日本女子サッカー選手権大会 (8月31日~9月14日)

ベスト4 関東第3代表

▷8/31 vs つくばFCレディース(○3-1)

▷9/6 vs 大和シルフィード(○2-0)

▷9/14 vs 山梨学院大学(○2-1)

◇第24回早慶女子サッカー定期戦-早慶女子クラシコ (8月17日)

優勝

▷8/17 vs 慶應義塾大学(○2-0)

◇皇后杯JFA第47回全日本女子サッカー選手権大会 (11月8日)

一回戦敗退

▷11/8 vs ディオッサ出雲FC(●0-1)

◇第34回全日本女子サッカー選手権大会 (12月26日)

二回戦敗退

▷12/26 vs 大阪体育大学(●0-0(PK3-4))

